



雨は、降って止みを繰り返しながら、わたしたちの肌に差す陽ざしの角度が少しずつ鋭くなってきました。夏の入口です。学園は新しい仲間たちを迎え、子どもたちはますます力を増しています。無事に一学期を走り切れますように。

学園祭



6月11日・12日の金曜日と土曜日、7・8・9年生の生徒たちが、1～6年生と保護者、学外の方に向けて学園祭を開きました。

学園祭は恒例行事として毎年開催されていますが、準備を始める前にまずは一旦白紙に戻し、その年の9年生たちが「学園祭をやるかどうか」というところから話し合います。学園祭は生徒主導の活動なのです。今回も、昨年度の2月ごろにその話し合いを経て、企画がスタートしました。前年度の9年生クラスの生徒たちから大きなファイルボックスを譲り受けると、そこには歴代の9年生たちが丁寧に書き残した「申し送りノート」が詰まっていた。先の話合いで、あまりにもあっさり結論が出たのも納得しました。生徒たちは、7年、8年と、毎年先輩たちと一緒に活動しながら、「学園祭」を気付かぬうちに引き継いでいるのです。初期の卒業生から続くその歴史を、自分たちで止めてしまうなどとは考えられないのかもしれませんが。そして何よりも、学園祭の活動は楽しいのです。

ゴールデンウィークが明けて学園祭準備期間に入ると、十日市場校舎の玄関には各チームの「本日の連絡事項」が書かれた小さなホワイトボードが現れました。休み時間は校舎のいろいろな場所で話し合いが始まり、お弁当の後は合奏の練習、授業後は各チームに分かれて景品づくりと、校舎全体が学園祭ムード一色となりました。こうする中で、今までそれほど知り合うことのなかった7年生も、一緒に活動を通して8・9年生との距離がぐっと近づいてきました。連日、下校後は17時18時まで残って作業を進めていた生徒たち。さすがに疲れた表情も見せていましたが、教室の中でおしゃべりに花を咲かせながら手を動かす時間は楽しくもあったようです。

そして迎えた本番。7年生教室では、「縁日」が開かれ、ピンボール・ボーリング・平均台渡り・ヨーヨー釣りの得点に応じて景品がもらえます。ピンポン玉をスプーンにのせて平均台を歩くなど、素朴なゲームに見えて高得点を狙うのはなかなか難しく、大人も十分に楽しめました。毎日平均台を渡り慣れている子どもたちは楽勝だったかもしれませんね！8年生教室は段ボール迷路の「ダンボールラビリントス」。迷路を進みながらクイズに答えたり、黒板絵の中から間違い探しをしてゴールを目指します。段ボールチームの今回のこだわりは、景品を全てダンボール作品にすること。迷路から出てくる子どもたちは、手に手にダンボール作品を持って嬉しそうでした。時折大きな拍手が上がり、立派なダンボール作品を抱えて出てくる子もいました。6年生教室は、「ワークショップ」。一昨年まではカフェを開いていましたが、他にできることはないかと新しい出し物に取り組みました。数種類のキットの中から作りたいものを選んで、一対一で生徒に教えてもらいながら作りあげます。数学部で習ったミウラ折りのランタンなど、キットにもアイデアが見られました。学外の方からは、作りながら学校生活などの質問が出て、生徒と会話ができる機会にもなったようです。ひと通り教室を回り終えると、最後が発表の時間です。今回は回数が多いためAチームBチームの交代制で、劇と合奏の発表を行いました。劇で会場の笑いが起こり、合奏ではしんと聴き入っている雰囲気は超越しに廊下まで伝わってきました。二日目の最後には、卒業生が集まってくれ、後輩たちの頑張りにかくさん声をかけてくれました。再会を喜びあう卒業生たちの姿からも、やはり学園祭は大事な場なのだと感じさせられました。

そうして無事に幕を閉じた学園祭。準備から本番まで生徒たちは本当によくやったと思います。とくに準備日・本番の三日間は力を出し切ってヘトヘトになりながらも最後までやり遂げました。さて、この学園祭の一番の収穫は何だったかと言えば、学年を越えて生徒たちが仲良くなったことなのかもしれません。今では休み時間になれば教室を行き来する生徒たちの姿が見られます。校舎に響く和気あいあいとした歓声を聞いたたびに、学園祭ができてよかったな、と感じる毎日です。

(9年生担任 太田初)

昨年は開催することが叶わなかったオープンデイですが、今年は例年通りとは行かないけれど、少し形を変えて、しかし、おもてなしの気持ちは変わらないままに、学園に興味関心を寄せてくださる方々をお迎えすることができました。

オープンデイを開催して



「2021年度オープンデイ」

毎年6月に開催されるオープンデイの準備は、いつも前の年度の3学期から始まります。春休み前までに粗方固めておき、4月の始業明けからミーティングの頻度も上がり、当日まで確認を重ねます。昨年はコロナで異例の事態の中、このオープンデイも中止が決定されました。そして私たち学園公開グループが主催する催しは一年間全てなくなったのでした。

世の中の情勢が落ち着いたとはまだ言えない状況下で、2021年度のオープンデイをどうするかについて、昨年12月に意見交換を行い、それまでコロナ対策を実践してきた経験を踏まえ、今だからこそできるオープンデイを開催する、という方向に進むこととなりました。

これまでと違って完全予約制で人数も制限し、またツアー形式にすることで不特定多数の方の接触をなるべく減らすようにしました。また、今回は枠が少ないことから学園に入学または転入をご希望される方を優先としました。そして、生徒が自主企画する学園祭もツアーに盛り込むことで7~9年生たちへの配慮も一層必要となりました。

「本当に開催ができるのか」

蔓延防止等重点措置、緊急事態宣言と、さまざまな動きや感染状況などを見ながら「本当に開催できるのか」ということを何度も確認し合い、冷静に情報を整理しながら進みました。

オープンデイ10日前の実行委員と当日スタッフが顔を合わせる会でも、開催について意見を聞く時間を設けました。そしてそのことは全家庭に配布するお便りでも事前にお知らせし、スタッフとしては関わらない方からも意見を伺いたい旨を伝えました。おかげでその時間に良い事例の紹介や提案がなされ、それまで準備してきたコロナ対策の内容がさらに強化されることとなりました。

お申し込み状況については、有り難いことに受付終了前に満席となり、キャンセル待ちの方々のリストが日々増えることとなりました。そのことも私たちの励みとなりました。

「保護者からのメッセージカード」

来場者の人数を制限している以上、私たちスタッフも最小人数で遂行できるように考えました。ただ、そうするとオープンデイに関わる人と、そうでない人とができ、一部の人だけでやっているものという雰囲気ができてしまうのではないかという懸念がありました。そこで、全家庭に当日いらっしゃる方たちへ向けてのメッセージをカードに書いてもらえるようお願いをしました。それを集めて、当日ウェルカムボードとして飾ってお迎えし、更には冊子にして持ち帰っていただけるようにしました。何ともあたたかなメッセージを寄せてもらえ、読む度に私も支えられました。

「オープンデイ当日」

6月にしては珍しく、雨の心配なく当日を迎えることができました。ゆったりした空間で行なったワークショップでは、お子さんたちが作ったミツバチを枝に下げて嬉しそうに飛ばしている姿がありました。一年生教室では担任が常駐し、普段の一年生教室の空気感そのものを感じていただけたのではないかと思います。

ご家族で30分ほど過ごしていただいた後は、大人は体験授業を、お子さんたちは保育の部屋へ。保育の部屋では落ち着いてゆったりと過ごせるように空間の工夫がなされ、時間の使い方も配慮されてとてもいい雰囲気が流れていました。

ワークショップや体験授業などをご用意した霧が丘校舎と学園祭を開催している十日市場校舎の移動は想定していたよりもスムーズに運び、緊張していた引率スタッフもホッと胸をなで下ろしていました。また、学園祭の様子は、楽しんだ空気をまとったお子さんたちからも伝わってきました。

「感謝」

約半年間をこのオープンデイに費やしてきましたが、事故や怪我がなく当日を終えることができよかったです。当日までの道のりを共にしてくれた学園公開グループメンバー、保護者と教員のみなさんにも改めてお礼申し上げます。足りない部分も多くあったかと思いますが、おかげさまで横浜シュタイナー学園らしい一日を作ることができました。

何より、来場者の方におかれましては、こうした状況の中でもこの学園に関心を向けてくださり、足を運んでいただき、私たちと出逢っていただけたことに大変感謝をしております。この日の出逢いが、みなさまにとって何か意味あるものとなっていましたら幸いです。

(学園公開グループ 3,6年保護者 松山周子)

校舎は幹線道路沿いに位置する横浜シュタイナー学園ですが、実は、一本道を入り、ほんの少し足をのばすと、自然豊かで、郷土の歴史が残る場所に溢れています。それは、日々の学びにも活かされています。そんな学園周辺を実際に歩いて見てまわる探訪会が毎年開催されています。今回初めて参加した保護者からの報告です。

学園周辺探訪会に参加して



5年生の2月に公立小学校から編入して4か月が過ぎました。5月25日に開催された保護者向け周辺探訪会に参加しました。平日午前の開催に、参加するか迷いましたが、ユネスコスクール活動の一環という一文に惹かれ夫婦で参加致しました。我が家が横浜シュタイナー学園への編入を決意するきっかけが「横浜シュタイナー学園サスティナブルスクール報告書」であり、この報告書を作ったのが学園のユネスコスクールグループだったからです。

訪れるところは主に低学年の学びの場となる「畑、乗馬クラブ、田んぼ」とありました。動物学でお世話になる乗馬クラブ、学園では本物の馬を見て動物を学ぶ！それを想像しただけで、ワクワクしました。娘はもう6年生なので、畑も田んぼも乗馬クラブも訪れることはありません。でも娘と共に学ぶ仲間が通ってきた道、見てきた物を私も見られると思い、前の晩は少々興奮気味でありました。夫婦二人のためのお弁当といつも娘が使っているシートをリュックに入れて出発です。

まずは参加する保護者の顔合わせと案内役の事務局長佐藤さんからのコース説明がありました。学びの場を回るコースは盛りだくさんです。

霧が丘校舎－萱場公園－霧が丘団地－霧が池公園
－霧が丘公園こどもログハウス－畑
－乗馬クラブ－新治市民の森－竹林－水田
－にいほる里山交流センター

横浜に生まれ育って半世紀、でも知らない場所ばかりです。

かけっこ、鬼ごっこ、体育が大好きな娘が、「今日ね、萱場公園でね」と毎日のように話す萱場公園が3階建て(※)であることに驚きました。体育を公園でやる、リレ

ーも。なるほど、ここの3階ならできる。この探訪会開催の意味を早々に体感致しました。(※公園の敷地内に高低差があり平らな場所が、下、中、上と3段階になっているので、学園の子ども達は上の広場を3階と呼ぶ)

それぞれの場所での佐藤さんの解説はシュタイナー教育の知識と学園の歴史、地元の話話が散りばめられていて、探訪会に来なければ知ることができない貴重な情報です。兄弟児のいる保護者が、前にも探訪会に来たのに忘れていたことがたくさん、周辺環境はもう知っているけれど、改めて参加して良かった、と話していました。

若葉台団地裏の学園がお借りしている長津田の畑に到着。のんびり、ゆっくり成長してきた子どもたちが、20分以上も歩いて畑に来るのは3年生。3年生は水田でお米を作り、畑を耕し、竹で家を作る。3年生になると急に凄く忙しくなる、と6年生の保護者談。年齢にあった学びが大切だと聞いていますが、なぜ急に凄く忙しくなるのか、シュタイナー教育への疑問が増えました。校舎には時計がないとか、学園で使う筆記具はクレヨン→色鉛筆→万年筆であるとか、なぜ？と思うことが学園生活を始めてみるとたくさんあります。それぞれに理由があり、その理由をひとつずつ丁寧に理解することは、私たちの楽しみでもあります。3年生の「凄く忙しい」を娘にもやらせてあげたかった。5年生での編入は遅かったか、いや、まだこれから、などと考えているうちに、乗馬クラブに到着。乗馬クラブのカフェでケーキとコーヒーを頂きながらのおしゃべりタイムとなりました。異学年の保護者と佐藤さんを交えてのおしゃべりは驚くこと、感心することばかり。探訪会は異学年混合で行うのが良いですね、との佐藤さんの言葉に参加者全員がうなずきました。

カフェを出て、新治市民の森、そして竹林へ。

トレイルランニングや登山が趣味なので、山に入るのは日常です。竹林はタケノコをとる場所、と思っている私でしたが、「綺麗な竹林！」と思わず声をあげました。森を管理する職員の方から、「良好な竹林環境は番傘をさして歩いても傘が竹に当たらないほどの間隔が必要で、この竹林は地域のみなさんによって、その環境が保たれています」と聞き綺麗な竹林にもやはり理由があるのだと理解しました。学園が恵まれた環境にあること、横浜シュタイナー学園だから出来る学びがあることを五感で感じる事ができました。

参加して良かったです。ありがとうございました。

(6年生保護者 金子留美)

インフォメーション

～詳細やお申込方法については学園サイトをご覧ください～

2022 年度入学・転入説明会

【A】「シュタイナー教育とは」「教育内容について」

【B】「保護者の学園への関わりについて」

* A→B の順で両方の回に必ずご出席ください。

8/28(土) 入学説明会 A

9/5(日) 入学説明会 B

9/11(土) 入学説明会 A

9/26(日) 入学説明会 B

オンラインによる同時配信も予定しております。

詳細は学園サイトにてお知らせします。

多面的シュタイナー考察 ⑩

宗教 V

～アントロポソフィーからみた宗教的なもの～

日時：7月3日(土)

10:00～12:00

会場：十日市場校舎&オンライン

参加費：会場参加 2500 円・オンライン 2000 円

NPO 会員の方はパスポートが適用されます。

お申込みの詳細は、学園 WEB サイトをご覧ください。

シリーズ建築講座

「宗教建築と人間について」

日にち：第1回 7月6日(火)

第2回 10月19日(火)

第3回 1月18日(火)

時間：10:00～12:00

会場：霧が丘校舎(おひさまの部屋)

参加費：2000 円(一般)・1500 円(NPO 会員)

お申し込みは事務局までお願いいたします。

連続講座 シュタイナー学校を知りたい! ②

大人のための体験授業 I / 低学年編「かず」「音楽」

日時：7月4日(日) 10:00～12:10

会場：霧が丘校舎

連続講座 シュタイナー学校を知りたい! ③

大人のための体験授業 II / 高学年編「幾何学」「粘土」

日時：7月4日(日) 13:45～15:55

会場：十日市場校舎

定員：各回 10 名

参加費：各回 3000 円(一般)・2800 円(NPO 会員)

* ②、③ 通しでのご参加の場合

参加費：1日 5000 円(一般)・4800 円(NPO 会員)

* ② のみ保育のご用意があります。

お子さま一人につき、1000 円。開催日の 1 週間前までに事務局までお申込みください。

* 連続講座の詳細につきましては、学園サイトをご確認ください。

～音といっしょに体を動かす～「大人のオイリュトミー」

日にち：1 学期 7月5日

2 学期 9月13日・10月11日・11月8日

3 学期 1月17日・2月7日 (いずれも月曜日)

時間：9:15～10:45

会場：霧が丘校舎

参加費：1 回 1500 円(学期まとめたお支払いは割引があります)

NPO 会員の方はパスポートのご利用をおすすめします。

お申込みは、開催日 1 週間前までに事務局までお願いいたします。

☆ 星の金貨より ☆

麻や綿素材の布マスクが好評です。

子ども用、大人用のご用意がございます。

虹染めシルクや綿ガーゼの綺麗なソロカラーも

入荷いたしました。

涼風書林やイザラ書房の書籍、アトリエルピナスの

ポストカード、ヴェレダもお取り扱いがございます。

どうぞお立ち寄りください。



～事務局より～

ご支援ありがとうございます。

(順不同・敬称略)

保育グループ、オープンデイ焼菓子グループ、

学園祭収益、星の金貨

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuken-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番 029 支店名 029 店(せとちい店) 当座 0130702

横浜シュタイナー学園

～Newsletter 第 141 号～

2021 年 6 月 24 日発行

編集： 広報の会

発行： NPO 法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘 3 丁目 1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※ 掲載内容の無断転載をお断りします